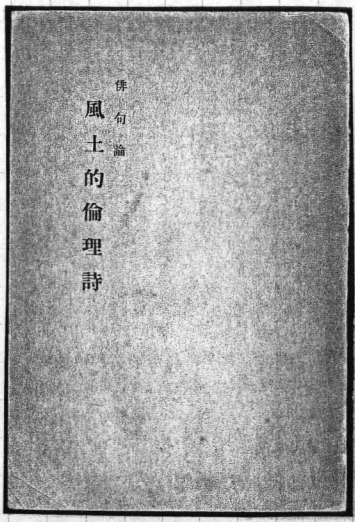


松村巨嶽 きゆうたか 俳人。明治二十八年二月二十一日東京生れ、昭和二十九年七月二十一日歿（六五―九五）。本名光二。別號獨存庵。大正四年白田亞浪の師事し、その主宰誌『石楠』創刊同人となる。昭和二年『清潭集』（十年『樹海』と改題）創刊主宰。

著書『季語の解釋』（伊東月菫編、昭和五年七月二十日俳句講座刊行會）、『句集』がびぎき』（簡、金子放光纂輯、昭和十年一月十五日樹海社）、『句山光』（共撰、白田亞浪刊行、昭和十年四月二十八日石楠社）、『俳句論』『風土の倫理詩』（昭和十一年十一月五日岬書房）、『新様季寄也』（編、昭和十一年五月二十日岬書房）、『句集』古徑』（昭和二十一年九月十五日白鷺書房）、『現代俳句用語辭典』（昭和二十二年十月一日富士書店）等。



俳句論
風土の倫理詩